

2020年3月期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役
専務執行役員 CFO

2020年4月27日



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>



Anritsu
envision : ensure

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限られるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- I. 事業概要
- II. 2020年3月期 連結決算概要
- III. 2021年3月期 通期業績予想（連結）
- IV. 5Gサービスのロードマップと
当社の取組について

I. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5 G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2020年3月期 実績 (連結) : 1,070億円

T&M 70%			PQA 21%	その他 9%
モバイル 56%	ネットワーク・インフラ 25%	エレクトロニクス 19%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 22%	アジア、パシフィック 44%	米州 22%	EMEA 12%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	1,008	1,077	69	7%
売上高	997	1,070	73	7%
営業利益	112	174	62	55%
税引前利益	114	172	58	51%
当期利益	90	134	44	49%
当期包括利益	94	119	25	27%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

➡ T&M：5G開発需要は特にアジアで順調

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	682	752	70	10%
	営業利益	94	151	57	61%
PQA	売上高	231	226	△ 5	△ 2%
	営業利益	16	13	△ 3	△ 20%
その他□	売上高	84	93	9	10%
	営業利益	11	19	8	66%
調整額	営業利益	△ 9	△ 9	0	-
合計	売上高	997	1,070	73	7%
	営業利益	112	174	62	55%

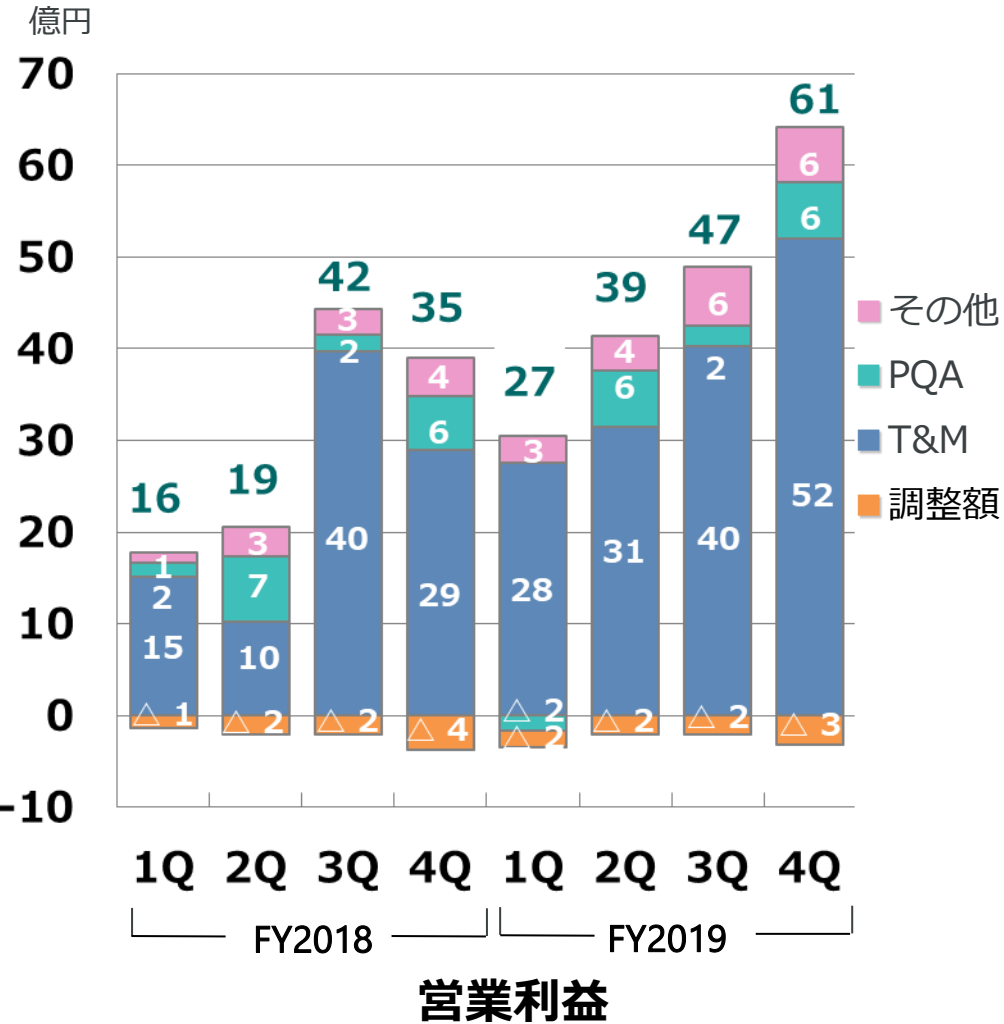
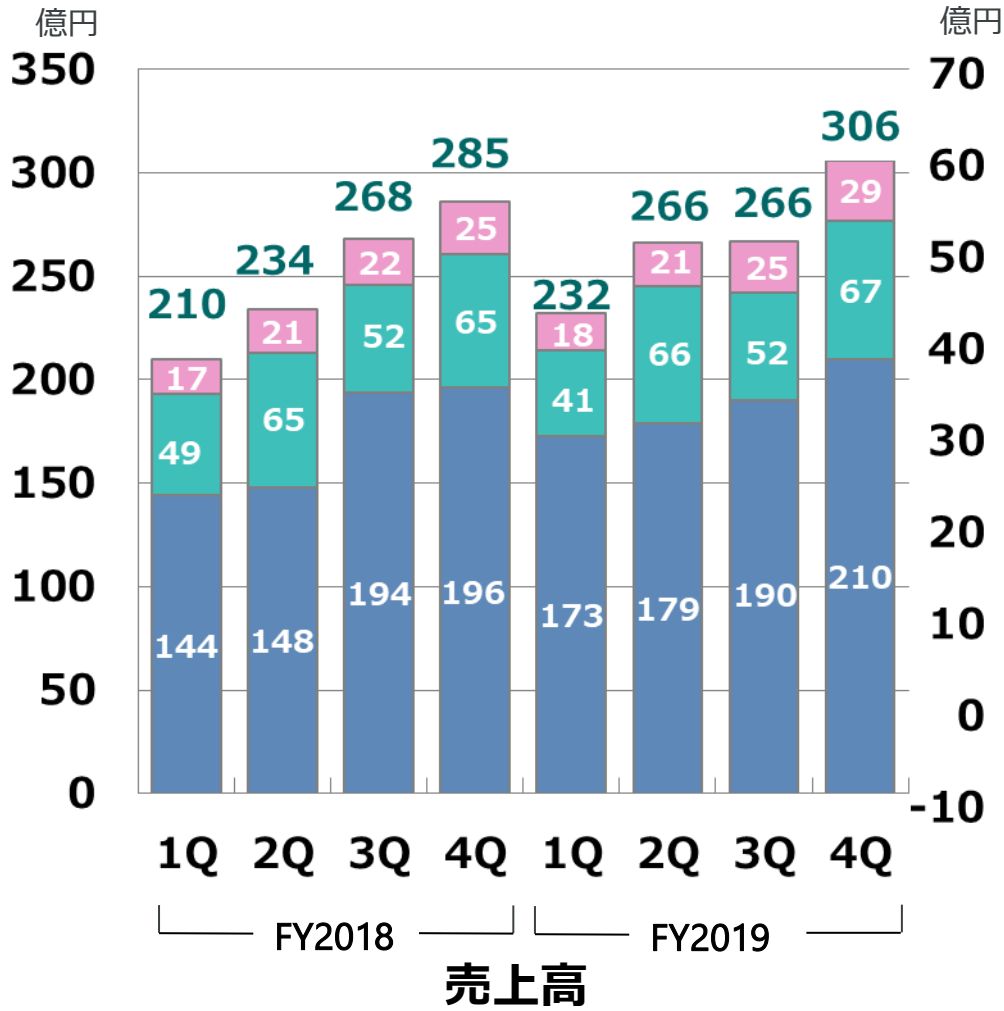
(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 4Q(1-3月)営業利益率：連結20%, T&M25%, PQA9%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入


Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント

2020年3月期（4月-3月）の状況

 **T&M** : 5G商用化スケジュールが順調に進展

モバイル	LTE	LTE-Aの投資は抑制・縮小が続く
	5G	5G開発の需要が順調に推移
Network Infrastructure		5Gインフラへの投資が拡大傾向
アジア	5G商用化に向けた投資拡大	
米州	5Gサービスの今後のエリア拡充に注視	

 **PQA** : 国内・海外とも食品市場の品質保証、自動化、省力化の投資が堅調

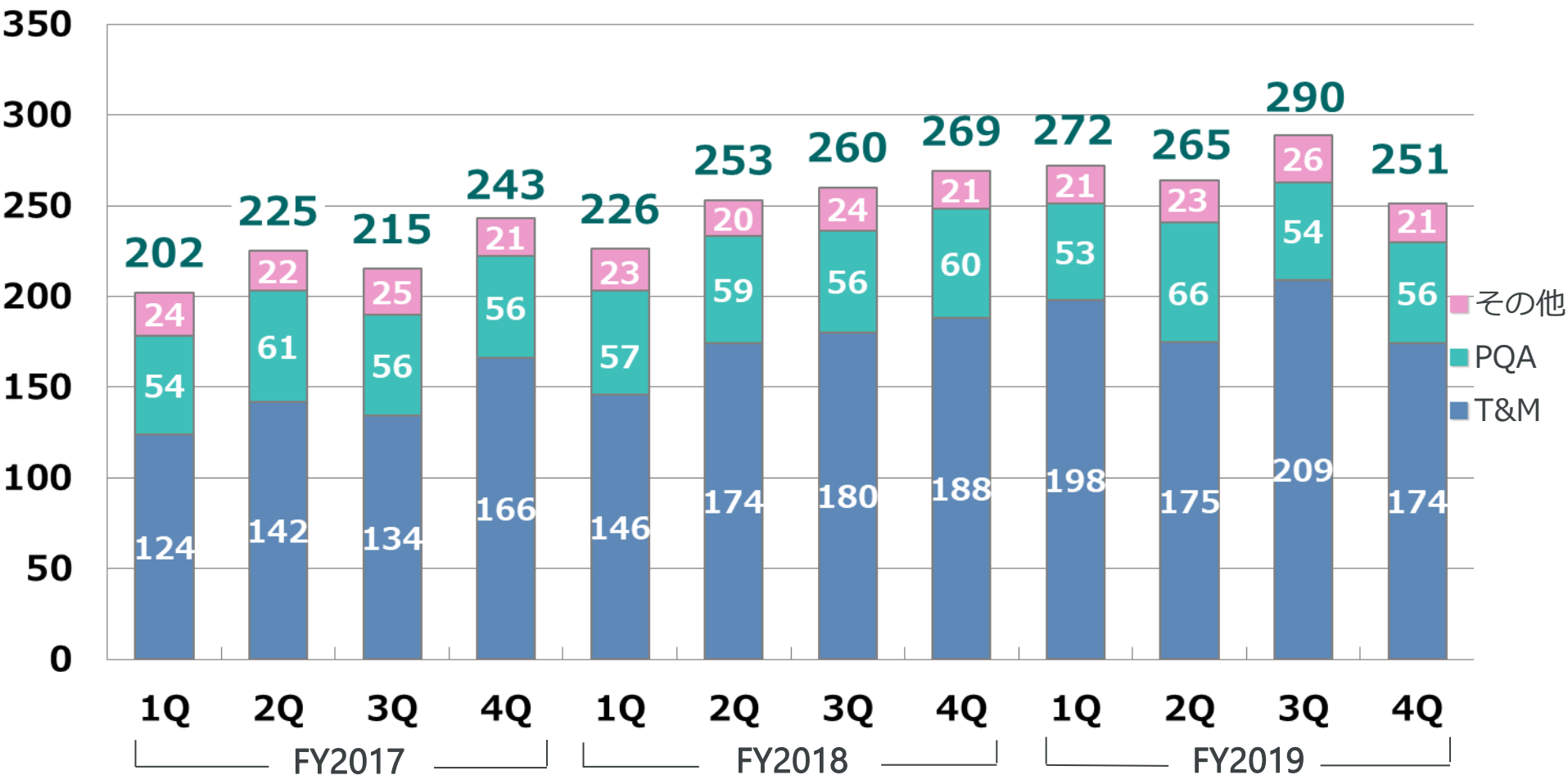
T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：前年同期比7%減

➡ PQA：前年同期比7%減

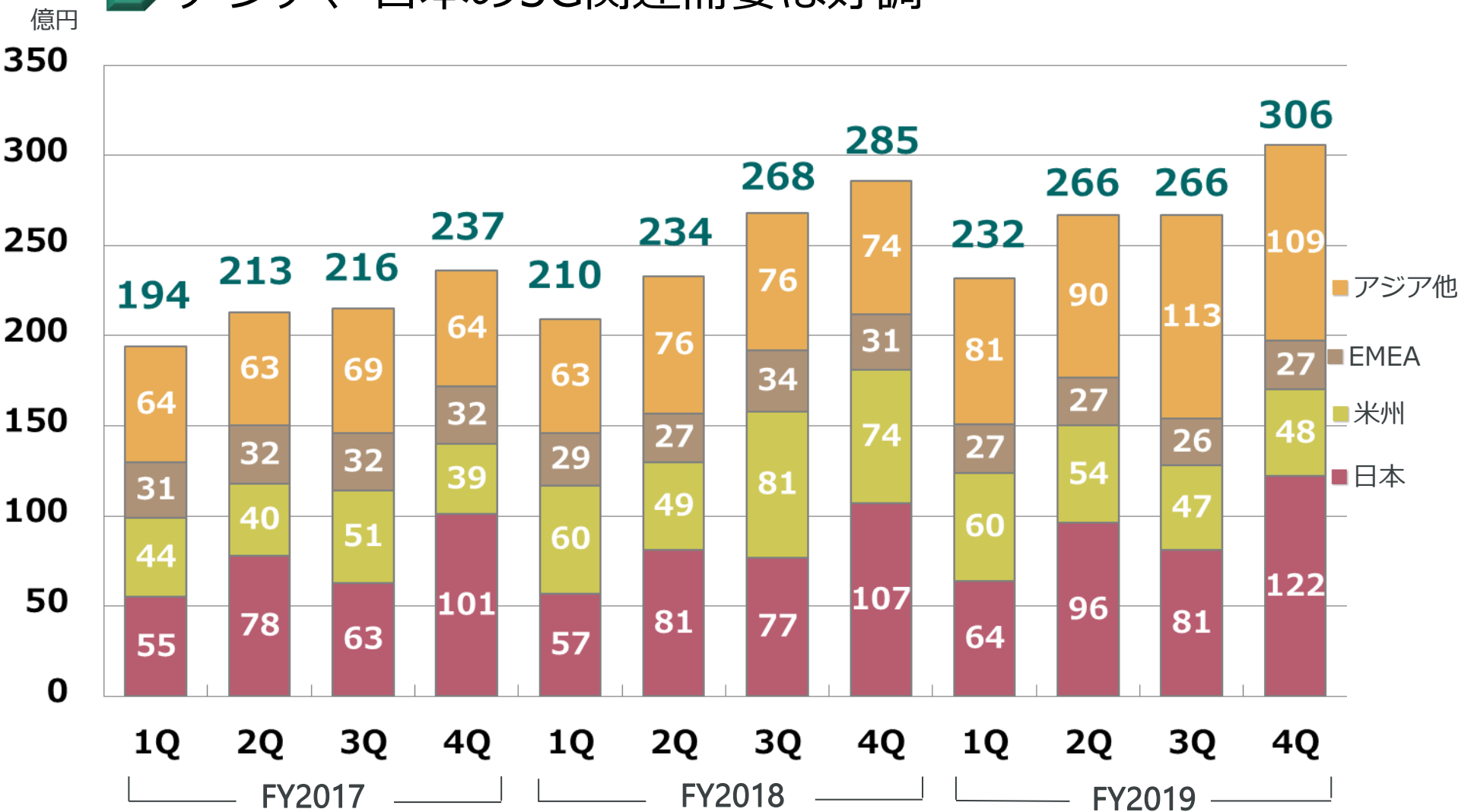
億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

▶ アジア、日本の5G関連需要は好調



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ- 7. キャッシュフロー

内訳

▶ 営業CFマージン率13.8%

(単位：億円)

FY2019 (累計)

① 営業CF： 147億円

② 投資CF： △ 37億円

③ 財務CF： △ 76億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 110億円

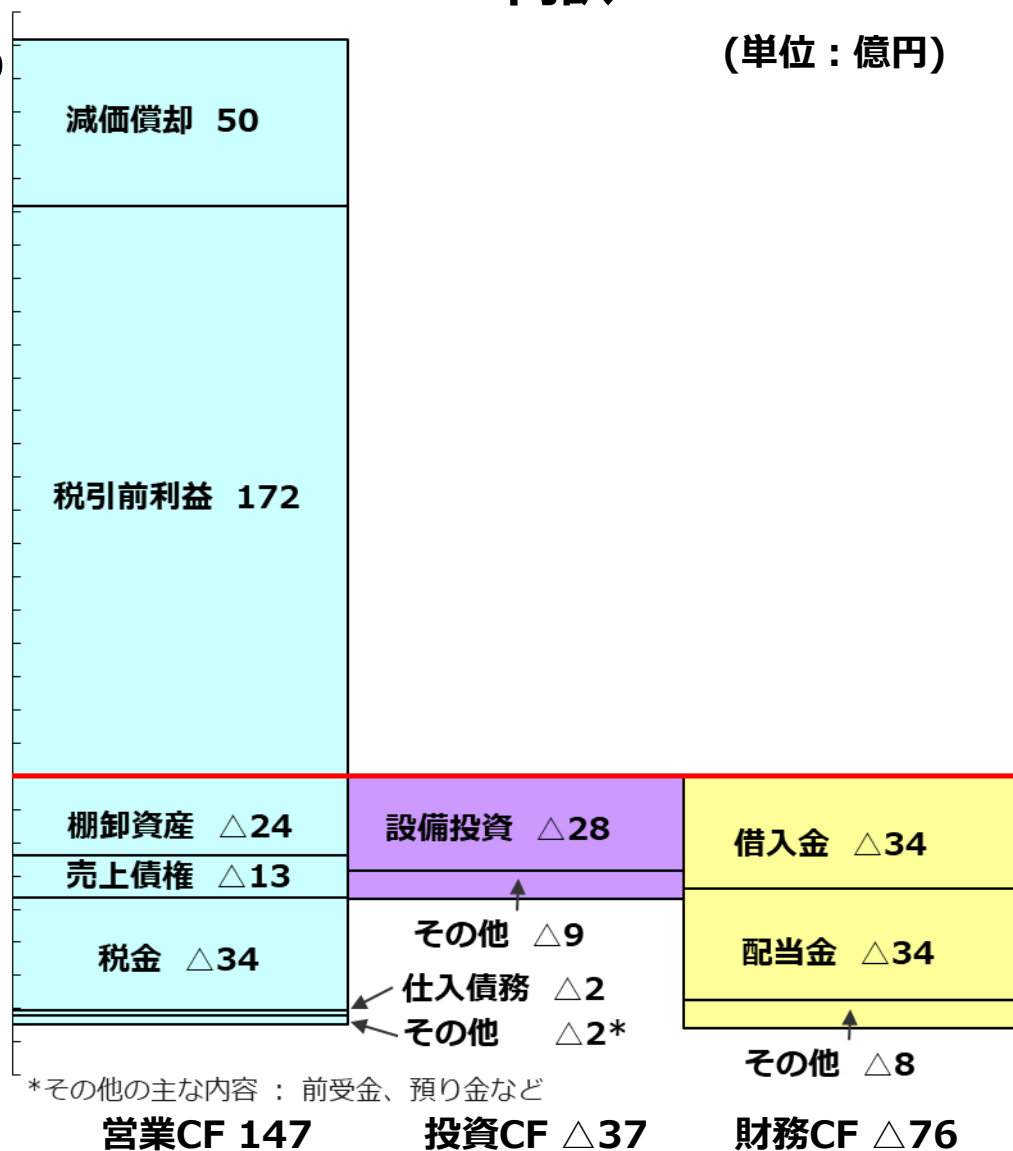
現金同等物期末残高

477億円

有利子負債残高

(リース負債を含む)

146億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅲ- 1. 2021年3月期 通期業績予想（連結）

➡ 新型コロナウイルスの影響により上期は市場が停滞

（単位：億円）

		2020/3期	2021/3期		
		前期実績	通期予想	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高		1,070	1,100	30	3%
営業利益		174	175	1	0%
税引前利益		172	175	3	2%
当期利益		134	135	1	1%
T&M	売上高	752	770	18	2%
	営業利益	151	155	4	2%
PQA	売上高	226	240	14	6%
	営業利益	13	18	5	40%
その他	売上高	93	90	△ 3	△ 3%
	営業利益	19	12	△ 7	△ 37%
調整額	営業利益	△ 9	△ 10	△ 1	-

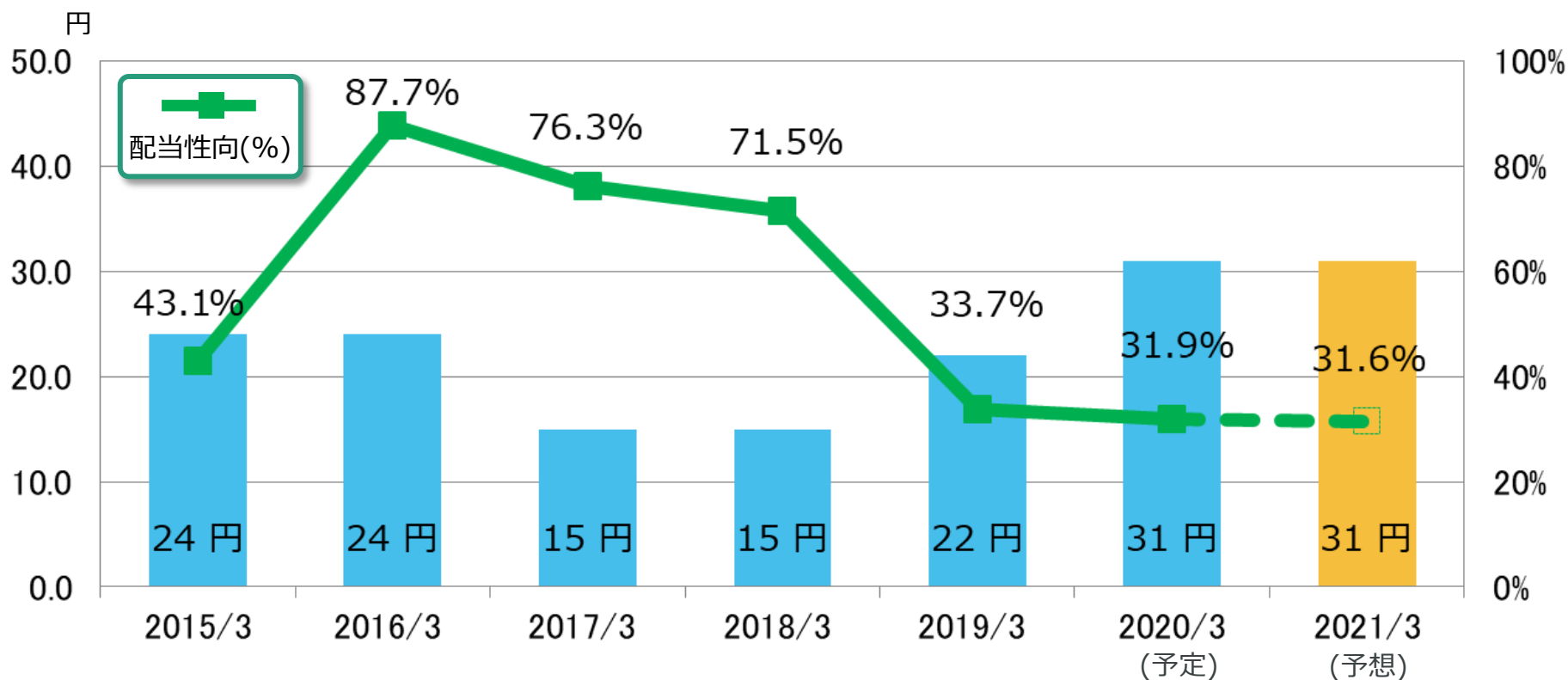
（参考）FY19 為替レート : 1米ドル109円、1ユーロ=121円
 FY20 想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=120円

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅲ- 2. 配当予想について

年間配当

	年間配当	当期利益	配当性向	DOE	ROE
2021年3月期 (予想)	31円	135億円	31.6%	4.4%	14%
2020年3月期 (予定)	31円	134億円	31.9%	4.7%	14.9%



IV. 5Gサービスのロードマップと 当社の取組について

アンリツ株式会社
代表取締役 社長

濱田 宏一

IV- 1.新型コロナウイルスに関連する当社の取組について

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまと、ご家族および関係者の皆さまに謹んでお見舞いを申し上げますと同時に、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況を鑑み、グローバルでテレワークなどを励行し、感染対策の強化に努めています。なお、通信インフラの維持、食の安全確保など、重要な社会的責任遂行のため、従業員や取引先さまの健康と安全を最優先に、商品やサービスの提供など、業務を継続しております。

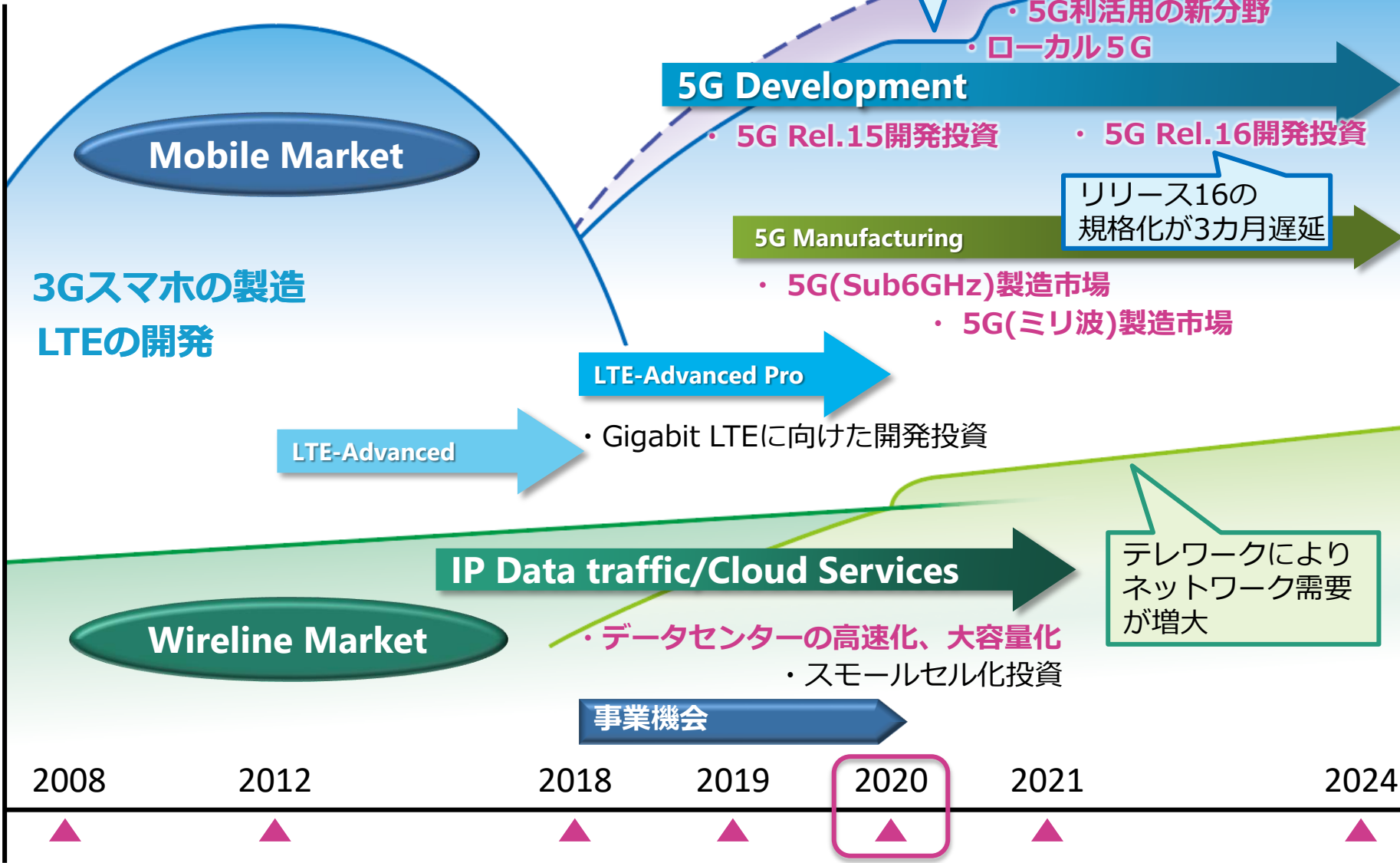
以下は日本での主な取り組みです。

- 本社を含め、特定警戒都道府県指定地域の全拠点において、原則として全従業員を対象にテレワーク・自宅待機を実施
- やむを得ず出社が必要な場合には、検温、うがい・手洗い、マスクの着用などを徹底し、最大限感染防止に努める
- 4月25日から5月10日の間、ゴールデンウィークを延長し休業とする
(福島県郡山市の東北アンリツ株式会社は4月29日から5月6日まで休業)

IV- 2. 計測市場トレンドと事業機会

コロナの影響により
半年程度5Gが停滞

市場規模

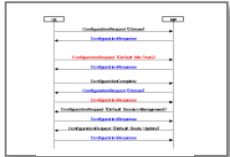


IV- 3. 5G端末の開発・製造プロセスとテストソリューション

Sub6 / ミリ波

チップ開発・商用化端末開発

チップセットメーカー
の技術検証



プロトコル

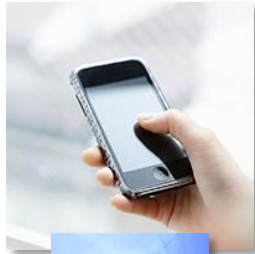


ベースバンドチップ
セット / RF回路

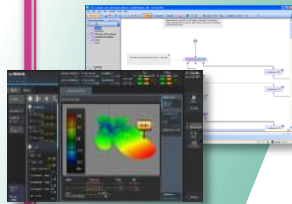


MT8000A
ラジオコミュニケーション
テストステーション

端末メーカーの
結合・性能評価



機能・性能評価

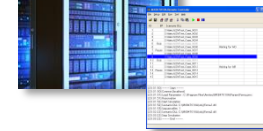


Sub6 / ミリ波

商用化端末開発

端末メーカー/テストハウス
規格適合性試験

Conformance Test
(CT)



ME783NR/ME7834NR
5G NRコンFORMANCE・事
業者受入試験テストシステム

事業者受入試験

Carrier Acceptance
Test (CAT)



MT8870A
ユニバーサルワイヤレス
テストセット

Sub6

ミリ波

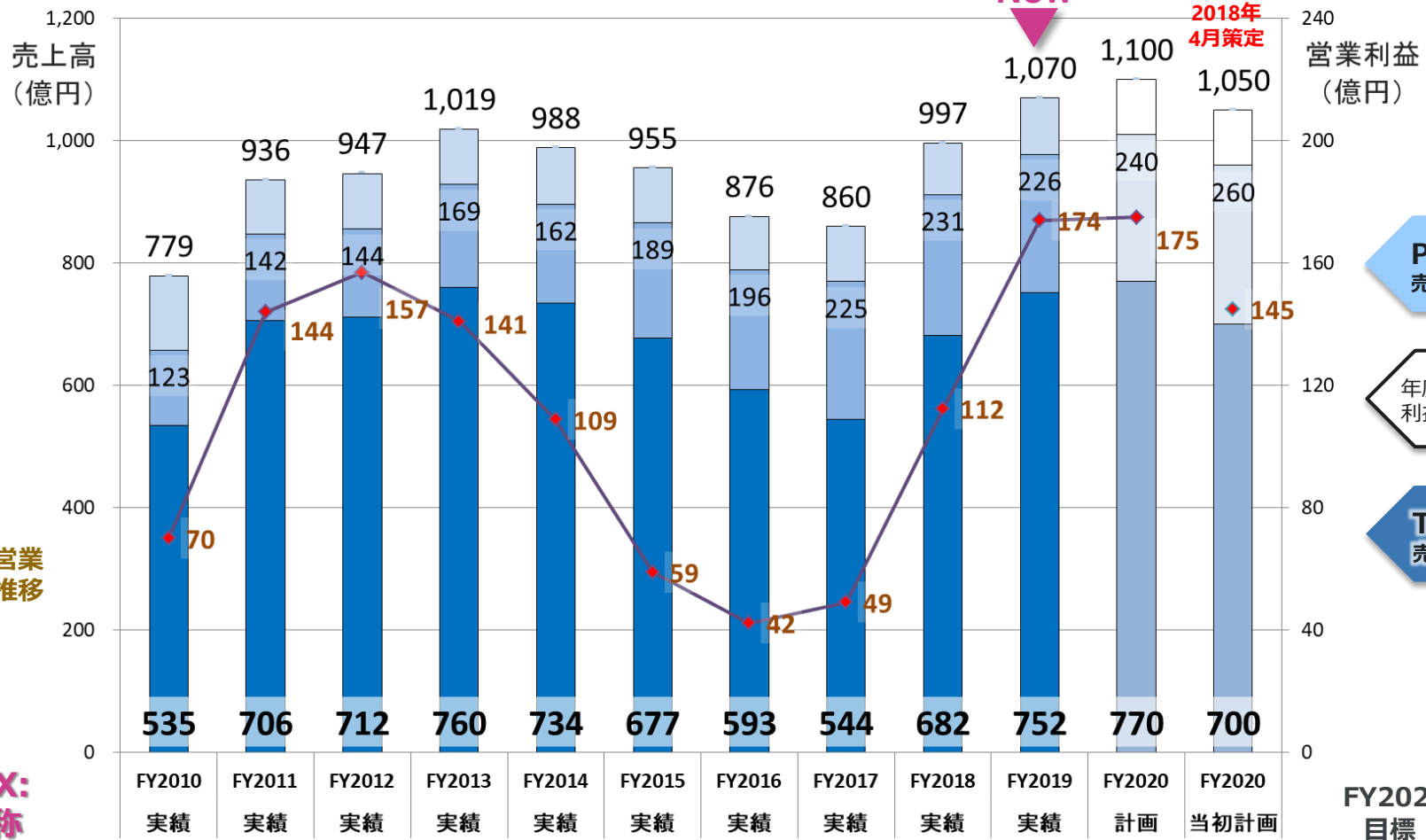
量産化

量産試験



RF校正・検査

IV- 4. GLP2020 : 売上高・営業利益計画



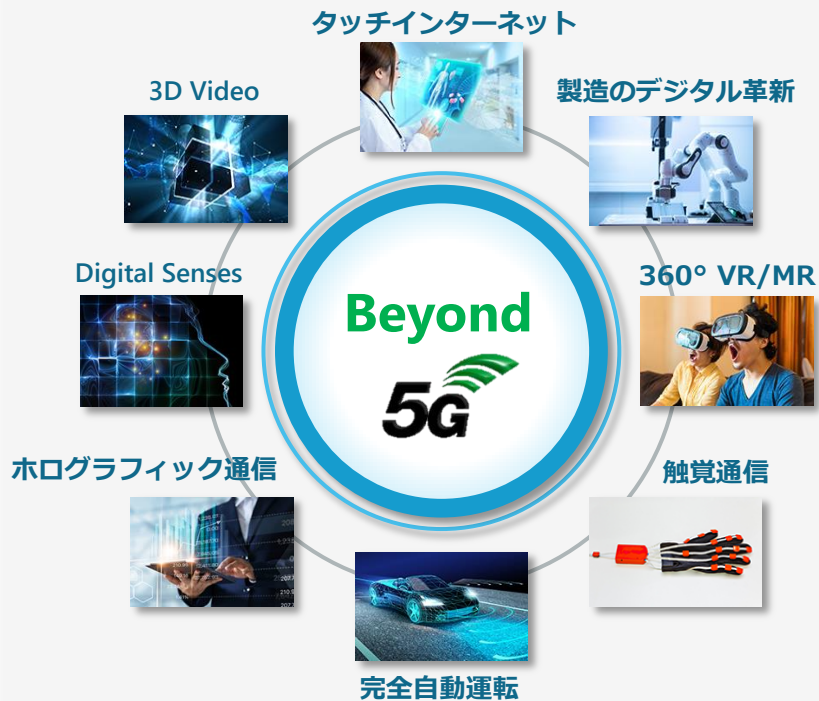
GLP20XX:
中計の名称

営業利益率	連結	9%	15%	17%	14%	11%	6%	5%	6%	11%	16%	16%	14%	18%
	T&M	9%	20%	21%	17%	12%	7%	4%	4%	14%	20%	20%	14%	20%
PQA	5%	4%	6%	7%	5%	6%	7%	9%	7%	6%	8%	12%	> 12%	
GLP計画		GLP2012	GLP2014			GLP2017			GLP2020				GLP202X	

IV- 5. 先端技術研究所の紹介

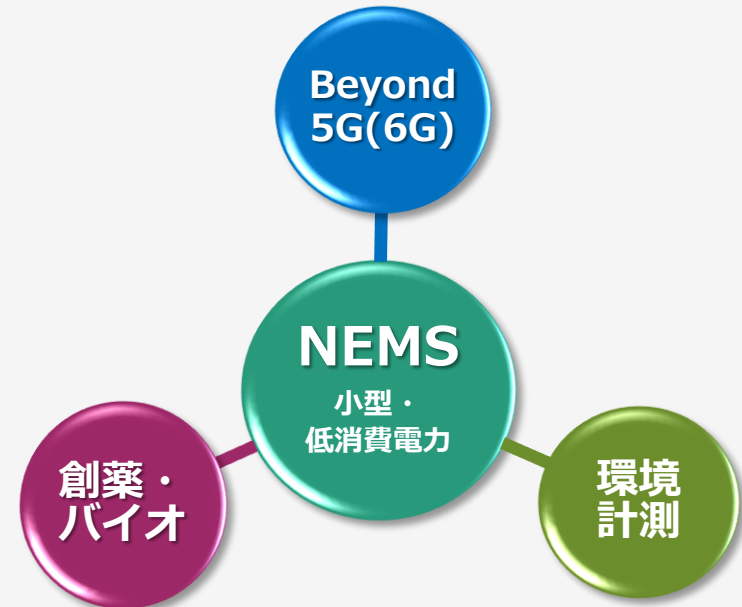
Beyond 5G(6G)

- 100GHz超コンポーネント開発
- 電波干渉のモニタリング技術



次世代技術の獲得

- 超高感度センサへの期待の高い "NEMS※"の実現



※NEMS（ネムス、Nano Electro Mechanical Systems）は、半導体加工技術をベースとするマイクロマシン（MEMS：メムス、Micro Electro Mechanical Systems）をさらに小型化した、nmオーダーの機械構造を持つデバイス

Anritsu
envision : ensure